

令和2年度 第1回 市川市博物館協議会 会議録

日 時：令和2年8月5日（水）午後2時から

場 所：市立市川歴史博物館 2階 講堂

出席者：浅川 潤一、清田 博之、櫻庭 秀喜、白井 久美子、町田 実、  
田邊 由美子、福岡 直子、福士 融、松田 陽、朝倉 忠文、  
松丸 陽輔、山田 耕生（順不同）

杉山元明考古博物館館長、須藤治自然博物館館長

考古博物館：皆川和幸主幹、堀江智副主幹、笠川賢司主任、  
山路直充学芸員

歴史博物館：小野英夫学芸員、三村宜敬学芸員

自然博物館：金子謙一学芸員

傍聴者：なし

事務局： 例年ですとはじめに、考古博物館館長から、新しく博物館協議会委員になられました方に委嘱状を交付させていただいておりましたが、今回は第3号委員に委嘱されました町田 実様、第4号委員に委嘱されました朝倉 忠文様におかれましては事前に委嘱状を交付させていただきました事をご報告させていただくと共に、後ほど、委員皆さまの自己紹介もございまして、よろしく願いいたします。

※はじめに杉山考古博物館長あいさつ

館 長： 本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。  
私たちは、子どもたちに市川の歴史の素晴らしさ、大切さを伝えていきたいと思っております。  
博物館運営協議会の委員の皆さまにおかれましては、それぞれ専門的な立場で忌憚のないご意見、ご助言を賜りたくお願い申しあげまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

{各委員及び事務局挨拶}

白井委員長： ※あいさつ

- 事務局 : それでは、市川市立博物館の設置及び管理に関する条例第12条第1項の規定により、協議会の議長は委員長が行うこととされております。  
これより先、白井委員長にお願いしたいと思います。
- 白井委員長 : では、これより令和2年度第1回市川市博物館協議会を開会いたします。  
なお、開会にあたりまして、本日は12名の委員の方々に出席いただいておりますので、市川市立博物館の設置及び管理に関する条例第12条第2項の会議規定、委員定数の過半数以上の出席という条件を満たしておりますので、この協議会は成立しております。  
では、事務局より(1)報告事項からお願いします。
- 事務局 : 考古・歴史・自然博物館の学芸員から令和2年度の実施状況及び自己評価について報告させていただきます。

**【考古・歴史・自然博物館の学芸員が元年度実施状況を説明】**

次に私(皆川主幹)から、次第の(1)報告事項、「令和元年度事業実施状況に対する自己評価について」の全体の総合評価について報告させていただきます。お手元に配布しました会議資料、「令和元年度 事業実施状況評価」をご覧ください。

この評価につきましては、各館におきまして事業を実施し、各担当が自己評価したものを、まとめたものでございます。

まず、1点目「収集・保管及び調査研究事業」の実施における主な成果及び課題についてでございます。

成果としまして、考古博物館では、市史編さん事業と連動した形で市内の調査を進め見込み通りの成果が得られたこと、

歴史博物館では、収蔵資料の古文書の整理が進むとともに、収蔵室自体の整理も進んだことなどが挙げられます。

自然博物館では、データベース化が進行しなかったことと、新規の資料収集もほとんどできなかったことが挙げられ、課題としましては、それら新規収集した資料をデータベース化して公開するまでのフローを再構築する必要性などが挙げられます。

総合自己評価は、これらを踏まえて、「B」としました。

次に、2点目「展示事業」についてでございます。

成果としまして、考古博物館では、照明をLEDへの交換したことにより、展示ケースなどが見やすくなったこと。

歴史博物館では、小学生向けの解説キャプションを増やしたり、展示資料のメンテナンスを行ったこと。

自然博物館では、臨時休館(コロナ対応)するまでは問題なく運営することができたことでございます。

総合自己評価は、「B」としました。

次に、3点目「市民向けの教育普及事業」についてでございます。

成果としまして、考古博物館では、座学の講座という形態であります  
が、受講生の出席率は80%前後を維持していることから、

ほぼ見込み通りの結果を得ることができたこと、

また、歴史博物館では、新たに中世史講座等を実施したところ参加者  
が増加したこと、

自然博物館では、具体的に自然観察会、散策会等、実績は安定してい  
るが新型コロナウイルス感染の感染拡大防止のため2回中止となった  
ことなどが挙げられます。

以上のことから、総合自己評価は、「B」としました。

次に、4点目「学校関連の教育普及事業」についてでございます。

成果としまして、考古博物館では、学校巡回展については未実施の学  
校で開催し、出前授業も本物の土器や石器に直接接触られて好評であ  
ったこと、

歴史博物館では、学習指導要領の改訂に合わせ展示を行っていること  
からアンケートでも、多くの学校から満足度の高い回答を得ており、  
自然博物館では、市外の学校や私立の高校、大学等から依頼を受けた  
ことなどが挙げられます。

総合自己評価は、これらを踏まえて、「B」としました。

次に、5点目「地域連携の教育普及事業」についてで、ございます。

成果としまして、考古博物館と歴史博物館では、博物館友の会からの  
要請に基づき、見学会講師などで協力した。また、自然博物館を含め  
て3館では、公民館・市民団体等での講座（公民館の設定する講座や  
地域に関する講座、など）を実施いたしました。

総合自己評価は、これらを踏まえて、「B」としました。

最後になりますが6点目「博物館の運営事業」についてでございます。

成果としまして、考古博物館では、事業内容をアピールしたこと、  
歴史博物館と自然博物館では、必要な施設維持管理に努めたことな  
どが挙げられます。

総合自己評価は、これらを踏まえて、「B」としました。

以上よろしくご審議下さいますようお願いいたします。

白井委員長：

ご質問・ご意見があればお願いします。

ではまず、考古博物館からお願いします。

- 松田委員 : 企画展「大地からのメッセージ」では入館者が約 5,500 人と好評であったこと、また、ナイトミュージアムという新しい事業についても好評だったので、私としてはAでいいと思う。  
また、1 件、質問ですが、情報発信として SNS 等を活用していることは一歩前進であるが、ウェブサイトは更新されているのか、お聞きしたい。
- 考古館長 : ウェブサイトの更新については、早急に対応いたします。
- 田邊委員 : 同じく企画展「大地からのメッセージ」が 5,500 人の入館者ということだが、その評価の仕方は難しいと思う。例えば入館者数について目標と比べ、どうだったのか聞きたい。
- 考古館長 : 過去の企画展との比較になるが、おおよそ約 4,000 人位なので、今回は増えております。
- 櫻庭委員 : この企画展には博物館友の会も協力しており、入場者の多くは家族づれであった。中でも「日本一古い丸木舟」が好評だったと感じます。
- 白井委員長 : 市川市は座学の評価も高いのでAでも良いのではないか。一方、収集保管については学芸員の高齢化もあり、データベース化を検討した方がいいのではないか。
- 考古館長 : この件については昨年も指摘を受けております。私どもとしましてはその対応として、台帳の原案化をし、項目の洗い出しを行い、エクセルにデータを入れ台帳化を進めてまいります。
- 白井委員長 : 次に歴史博物館に移ります。では、私からですが考古歴史共に行事案内を10,000部発行したが、公民館等に配荷できたのか聞きたい。
- 学芸員 : 各公民館等に配荷できた。加えて、市内小中学校にも配布した。
- 町田委員 : 歴史の方では出前授業が少ないが理由を教えてください。要望であるが、親が楽しめれば子も楽しめる。歴史博物館でも工夫しながら進めてほしい。
- 学芸員 : 基本的には来館していただくことで最大限楽しめるよう運営している。今後、検討していきたい。
- 田邊委員 : 確認したい。考古・歴史博物館ではボランティアを活用できているか。
- 学芸員 : 考古については組紐・勾玉づくりに高校生が参加している。
- 考古館長 : 資料整理等においては非常勤職員で対応している。
- 松田委員 : 市内学校所蔵資料調査においては非常に評価できる。いいモデルとして進めてほしい。
- 白井委員長 : 次に自然博物館に移ります。
- 松田委員 : 自然体験学習指導では28回開催するなど好印象を持った。講座講師派遣については回数を入れた方が良いのではないか。

- 学芸員 : 記録はある。今後は実績として載せたい。
- 白井委員長 : 展示解説ですが正職員での対応とのことだが、ボランティアは考えていないのか。また、事業案内を配布しなかったとのことだが、ネット環境がない方への対応はどうするのか。
- 学芸員 : 展示解説については展示物の状態を見るための経験値とスキルが必要です。私どもといたしまして責任ある立場の職員で対応して行きたい。また、配布物については置くもの、置かないものを今後、精査していきます。ネット環境がない方には、要望があれば郵送等で対応します。
- 白井委員長 : 説明ありがとうございました。  
次に、報告事項の2件目、令和2年度館別事業計画の修正についての説明をお願いします。
- 考古館長 : ※年度内主催事業全て中止（各館主だった事業を説明）
- 白井委員長 : 次に（2）協議事項について事務局から説明をお願いします。
- 事務局 : 先ほど、報告事項としてご説明しました、実施事業自己評価の総合評価に対する協議会としての外部評価について、協議会委員の皆様からの意見及び館別事業実施状況に対する評価をお願いいたします。
- 白井委員長 : それでは、外部評価について収集・保管及び調査研究からお願いします。いかがですか。  
（意見なければ）では、これについては、総合自己評価どおりBとします。次に展示でございます。
- 山田委員 : 考古博物館については、良質な展示が行われており評価できる。Aにしていると思う。
- 白井委員長 : では、考古博物館についてはAとします。  
次に、市民向けの教育普及です。私は考古博物館の座学講座等、実績が良いので、Aが良いと思います。
- 町田委員 : 歴史・自然博物館も自己評価なので厳しい。評価基準みると目標の90%超えているのでこれもAで良いと思う。
- 白井委員長 : では、市民向けの教育普及については3館ともAといたします。  
次に、学校関連の教育普及です。私は自然博物館など依頼数が多いのでAで良いと思います。
- 櫻庭副委員長 : 考古博物館の巡回展は好評なのでAで良いと思います。
- 白井委員長 : では、学校関連の教育普及についても3館ともAといたします。  
次に地域連携の教育普及です。  
（意見なければ）では地域連携の教育普及については総合評価どおりBといたします。最後に運営でございます。

(意見なければ) これは各館状況が違いますが、運営も総合評価どおり B といたします。

また、考古博物館においては、ウェブサイト更新の件、よろしく願いします。

それでは、次第(3)その他に移ります。

次回の協議会の日程等について、事務局よりお願いいたします。

事務局 : 次回の協議会の日程につきましては、令和3年3月頃を予定しております。

白井委員長: はい、わかりました。皆さんよろしいでしょうか。

それでは、委員の皆さん、全体をとおして何かございますか。

福岡委員 : 運営等のやりとりは伺った。それとは別に市川市の博物館予算の状況は今後、どうなるのか。明るい兆しはあるのか、お聞きしたい。

考古館長 : 全体的には厳しい見通しです。これは当館だけでなく全庁的に、ということです。ご承知のとおりコロナ関連の経費で予算は厳しい状況でございます。しかしながら、部分的ではあるが明るいことも少しございます。新しい事業であります。文化財事業で「多言語解説等整備事業」を今年度実施いたします。そういう事でご理解いただきたいと思えます。

松丸委員 : SNS等フォローしました。いい事業である。今後はそれを発信し、知ってもらうことが必要だと思います。

白井委員長: 無ければ、これをもちまして、本日の日程は、全て終了となります。

みなさま、長時間、ありがとうございました。